

平成20年度質の高い大学教育推進プログラム審査結果表【選定】

機 関 名	関西大学				
取 組 名 称	英語に強いプロアクティブ・リーダーの育成				
取組学部等	商学部				
申 請 区 分	教育方法の工夫改善を主とする取組				
整 理 番 号	A21198	申 請 の 形 態	単 独	取 組 期 間	3 年
申請の分類	専門基礎	外国語	高大連携		
キーワード	産学官連携, 高大連携, 海外連携, 英語力, プロジェクト型学習				

<選定理由>

本取組は、産学官連携・高大連携・海外連携を通じ、英語力とプロジェクト実践力を同時強化する視点から、グローバルな舞台で活躍できる人材の育成を目指すプログラムとして高く評価できる。特に、①文化の違いを超えて意思疎通ができる国際感覚と英語力、②組織や社会の中でイノベーションを起こしうるアントルプルナーシップ、③仲間の信頼を得ながら率先して行動するリーダーシップの三点を兼ね備えたグローバルな環境下でのビジネスリーダーを育てることは、英語に強いビジネスマインドを持った人材を育成するという社会が求める必要性の観点から見て、大きな意義を有するものである。また、大学がこの取組の意義を高く位置づけ、これまでの実績として KUBIC、CORES 等を積極的に整備しており、BLSP、BestA を加えた今後の展開について具体的な計画を立てているなど、取り組みの実現性についても高く評価できる。

ただし、取組が総花的でどのように取組全体を効果的に組織化できているかは疑問であり、十分な支援体制を整備することが望まれる。取組実施にあたっては、このことに留意しつつ、着実に成果を上げることを期待する。

取組の概要【1ページ以内】

現在の大学には、基礎的な知識の習得や論理的思考力の強化を大前提としつつ、国際社会において周囲の人間を巻き込みながら率先して問題解決が行える人材の育成が求められている。本取組「英語に強いプロアクティブ・リーダーの育成」は、産学官連携・高大連携・海外連携を通じ、英語力とプロジェクト実践力を同時強化することによって、グローバルな舞台で活躍できるプロアクティブ（率先して行動する）・リーダーの育成を目指すものである。本取組の目的は、グローバルな環境下で、文化の違いを超えて意思疎通ができる国際感覚と英語力、組織や社会の中でイノベーションを起こしうるアントルプルナーシップ、仲間の信頼を得ながら率先して行動するリーダーシップの三点を兼ね備えた将来のビジネスリーダーを育てることにある。この目的の下、産学官連携・高大連携・海外連携を通じ、以下の4つのプログラムを学部の事業および講義科目として実施する。個々の具体的な内容は下記の通りである。

1) 関西大学ビジネスプラン・コンペティション (KUBIC: キュービック)

事業テーマの提出という形で企業協賛を受け、商学部主催で学生と教員が共同運営する全国規模のビジネスプラン・コンペティション。高校の部・大学の部・一般の部を有する。

2) ビジネスプラン教育プログラム (CORES: コレス)

KUBIC 企業テーマ部門への応募を目標に、2年次演習に所属する約150名がプロジェクト型学習によりビジネスプランの作成を行い、合同発表会で学生同士が相互評価する。

3) ビジネスリーダー養成特別プログラム (BLSP: ビー・エル・エス・ピー)

専門分野の専任教員とビジネス英語専任教員が少人数クラス制で指導する。ベンチャーの本場アメリカの大学で研究成果を英語でプレゼンテーションする海外ワークショップ、企業等が与えた課題を解決し報告するプロジェクト研究、ITを利用したビジネス・シミュレーション、他大学・高校・企業等との合同英語発表会、世界トップレベルの外国人客員教授による英語の集中講義等、英語と専門知識を鍛える多様な機会が与えられる。

4) 海外ビジネス英語プログラム (BestA: ベスタ)

イギリスの大学等と提携し、現地で1ヶ月間ホームステイをしながら授業や企業での実習等を通じてビジネス英語を学ぶ、短期集中型の英語運用能力強化プログラムである。

